

FA コーチ通信⑥

「ミニ国体東海ブロック」

第78回国民体育大会（鹿児島国体）の東海ブロック（ミニ国体）が8月12日～13日に三重県鈴鹿市で開催されました。昨年の栃木国体では岐阜県選抜成年男子が9年振りに出場し決勝戦では大分県選抜（JFLヴェルスパ大分）と対戦し惜しくも準優勝となりました。そして今年の東海ブロックでは初戦を愛知県選抜と対戦し3対1、本大会出場決定戦では静岡県選抜と対戦し延長戦までスコアレスの好ゲームを展開し、PK戦を5対4で制し2年連続の本大会出場（鹿児島）を決めました。

決定戦の静岡県選抜戦では個人力の高い静岡県選抜に対し相手の良さを守備力で対抗し粘り強くプレーしていました。そして昨年の栃木国体でも2度のPK戦を制した経験を生かしさらには組織力と併せて愚直に粘り強く少しずつ相手を追い詰め最後は勝利を奪うといった岐阜らしさを発揮した試合でした。チーム編成はFC岐阜セカンドを母体とし、岐阜協立大学の学生選手を加えてのチーム編成でした。鹿児島大会ではタイトル奪還を目指して頑張ってくれることを期待します。

一方少年男子と少年女子は、それぞれ1回戦で三重県選抜と対戦しました。少年男子は早い時間帯に先制したものの逆転負けを喫し初戦での敗退となりました。

同じく少年女子も三重県選抜と対戦しスコアレスのままPK戦（2対4）で惜敗でした。男女共に勝利を手繰り寄せることはできませんでしたが、東海地域の中で勝ち抜くというのは大変なことであると痛感した試合でしたが来年度のミニ国へ向けて強化を図ってまいりたいと思います。

また、3チームの岐阜県選抜チームの強化活動に対したくさんのご声援と多くの方々のご理解とご協力に感謝申し上げます。

そして鹿児島での本大会は2023年10月12日から開催されます。是非注目していただきみんなでお支えしましょう！